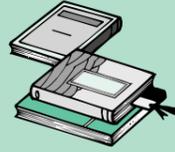


### 図書館 図書室 INFOMATION



#### ■今回の一押し図書

##### ▽「森吉山の花図鑑」

田中誠／著 無明舎出版  
秋田市在住で森吉山「山の案内人」などを務める著者による森吉山地域の花・樹木・キノコのガイドブック。シラネアオイ、チングルマなど150種を超える植物やキノコの季節感豊かな写真が、わかりやすい解説付きで掲載されています。一度は実物に出会ってみたい、そんな気分させるお奨めの一冊です。

#### ■新しく入った本

##### ▽「エルマーと16ぴきのりゅう」

ルース・スタイルス・ガネット／著 福音館書店  
大好評だった「エルマーのぼうけん」「エルマーとりゅう」に続く三冊目。児童文学の歴史に長く残るこの本は、子どもたちの経験を豊かにし、夢を大きく広げます。

##### ▽「14歳千原ジュニア」

千原ジュニア／著 講談社  
お笑いコンビの千原兄弟が、少年時代をもとに独特の感性と鋭い人間観察で描いた自伝的小説。

##### ▽「おまけのこ」

島中恵／著 新潮社

今回は、阿仁公民館の図書室をご紹介します。北秋田市で一番小さな図書館（室）ですが、児童生徒から80代のお年寄りまで幅広く利用されています。今回も幅広く新刊図書を取りそろえました。是非ご利用ください。

「しゃばけ」シリーズ第4弾。身体は弱いがあふに溢れる若旦那など、頼れるわりにちょっとボケたお化けたちの愉快な人情妖怪推理帖  
▽「ナイチンゲールの沈黙」  
海堂尊／著 宝島社

第4回『このミステリーがすごい！』大賞受賞作。ファンタジックなメディカル（医療）エンターテインメント。

#### ■是非読んでいただきたい本（寄贈）

##### ▽「田舎のうさぎ」

伊藤朋子／著 新風舎  
鷹巣中学校に短期の臨時講師として赴任した著者（当時24歳）の、学校を中心とした日々の暮らしが綴られています。「田舎」での初めての一人暮らし。生徒や周囲の先生方、地域の人々のふれあいの中から著者自身が学び、感動したことが素直に伝わってきます。

当時の先生たちや思い出の場所が実名で登場読み終わる頃には、読者がすっかり「伊藤先生」になりきっている？不思議な一冊です。

#### ◎お問い合わせ

阿仁公民館 ☎8222220

### 地域の文化財を守ろう

#### 市民有志が「長岐邸」の清掃活動

市の文化財に指定されている七日市「長岐邸」で4月27日、市民有志による清掃活動が行われました。枯れ木や枯葉の除去、歩道の泥よせや草取り、土ぼこりで汚れた内部のぞうきんがけなど半年ぶりの大掃除となりました。

西暦1830年以降の歴史を持つ長岐邸は、道路に近い部分を中心に当時のたたずまいを今に伝えていますが、屋根や板壁などのいたみがはげしく土ぼこりの進入や雨もりの発生に悩まされています。

4月の下旬とはいえまだ気温の低いなか、関係者は歴史深い文化財の清掃に一生懸命取り組み、見学者が多く訪れるこれらのシーズンに備えました。



市指定文化財長岐邸の清掃活動に精を出す有志の皆さん

## 学びの広場

- 公民館活動 ● 生涯学習
- 文化振興 ● 学校 ● スポーツ

地域で学び、活動する  
皆さんを応援します

北秋田市  
教育委員会

平成19年度北秋田市鷹巣地区婦人学級連絡協議会（寺田栄子会長）の総会が4月27日、市中央公民館で開催されました。

鷹巣地区には16の婦人学級があり、318人の皆さんが身近なテーマで学習活動に取り組んでいます。

総会では、移動研修、ふるさと餅つきまつりへの参加、市文化祭行事、婦人芸能祭、子育て支援へのボランティア活動などの事業計画が承認されました。

続く懇親会では、みんなで歌の斉唱や会員による芸

## これからも会員一丸となって

鷹巣地区婦人学級連絡協議会



会員による芸能発表などで親睦を深めた婦学連の総会

能発表も披露され、笑いも飛び交う大変楽しい時間を過ごしました。

## 土づくりにさわやかな汗

阿仁公民館短期講座

「プランター・花壇の土づくりと寄せ植え」の講習会が5月10日開かれ、18人の参加者が熱心に受講しました。

講師は、北秋田市川井で花づくりをされている加藤由美子さん。はじめに、材料にはそれぞれの特性があり、組み合わせることによって良い培養土を作ることが出来ることなどの基本を学びました。次に実際に自分たちで腐葉土や他の材料等の土合わせを行い、各自好みの花の植え付けをしました。参加者



講師の指導で花壇の土作りのコツを学んだ短期講座

の関心も高く、花を長く楽しむための土づくり第一歩が順調にスタートしました。

## 学びあい、豊かな人生を

合川公民館「合川ことぶき大学入学式」

合川ことぶき大学入学式が5月10日、合川農村環境改善センターで行われ、新入生6名を含む、92人の学生が勉学への決意を新たにしました。

合川ことぶき大学は、生きがいを見出し、親しまれる人生を送るために学び合うことを目的として、昭和52年に開設されました。一期卒業までの修業期間は2年。今回で16期を迎えました。

式では、新入生代表として、島山誠一郎さんが「歴史あることぶき大学生として精一杯励みたい」と決意の言葉を述べ、学生達は生涯にわたる学習を誓い合いました。



勉学への決意を新たに合川ことぶき大学入学式

式に続き、先進的な会社経営に取り組んでいる(有)栄物産社長・藤嶋佐久栄さんの講話「人生七転び八起き」を聴講し、藤嶋さんの波乱万丈の人生と、何事も諦めないチャレンジ精神に感銘を受けました。